

## 5 - 2 東海・南関東地域の地震活動（1983年6月～11月）

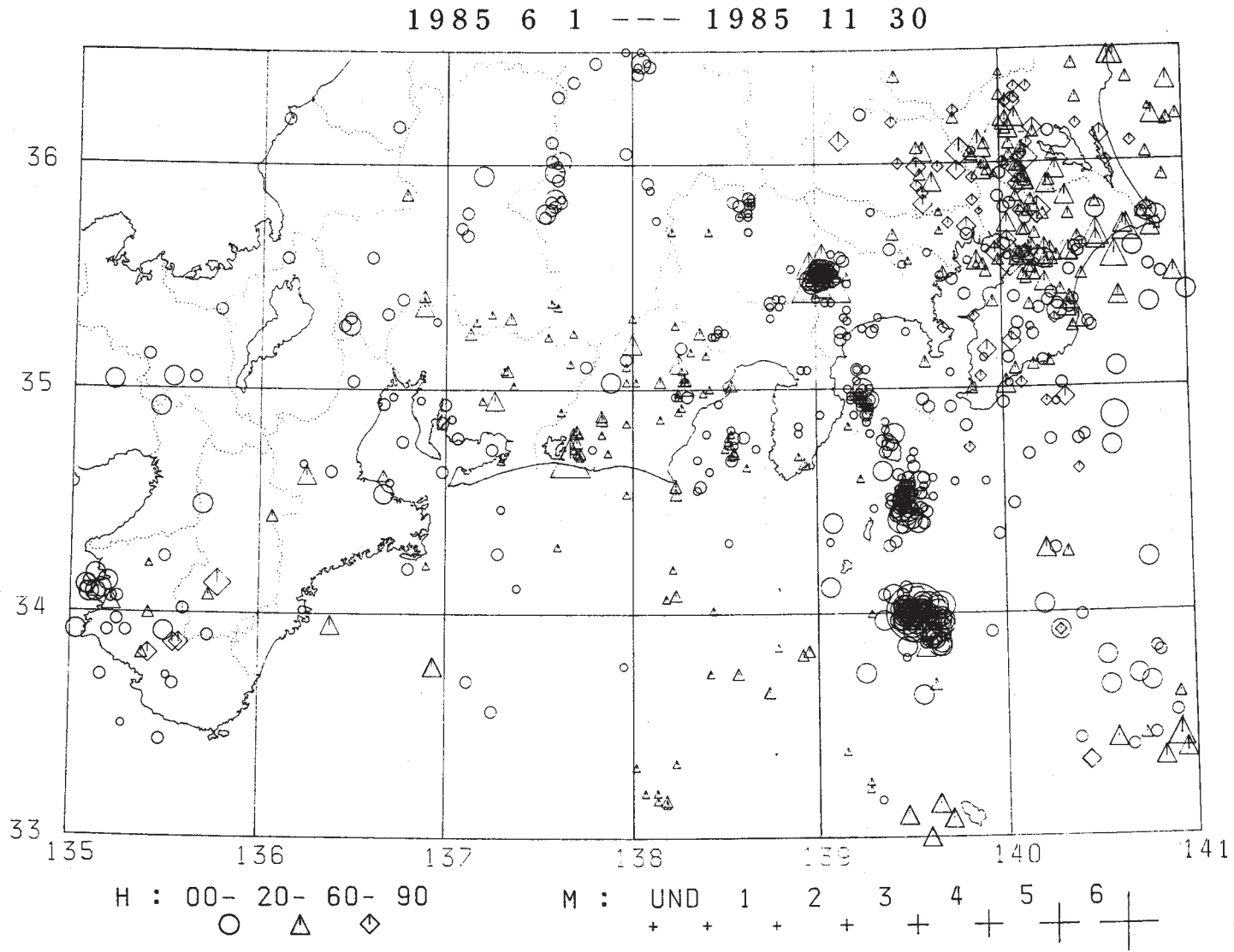
### Seismic Activities in the Tokai and Southern Kanto Districts (June - November, 1983)

気象庁地震予知情報課  
Earthquake Prediction Information Division,  
Japan Meteorological Agency

第1図は前回にひきつづき、1983年6月から11月までに東海・南関東地域に発生した地震の震央分布である。この期間、東海地方では地震活動が比較的静かであったが、11月24日10時23分頃、静岡県西部沿岸（東経137°40′1″，北緯34°41′5″，深さ33km）にマグニチュード5.0（暫定値）の地震が発生した。第2図はこの地震による震度分布であり、第3図にメカニズムを示す。このほかに特に目立った活動はなかった。駿河湾から静岡県西部にかけて小さい地震がやや多くなっているが、これらは時間的には集中して起こったものではない。

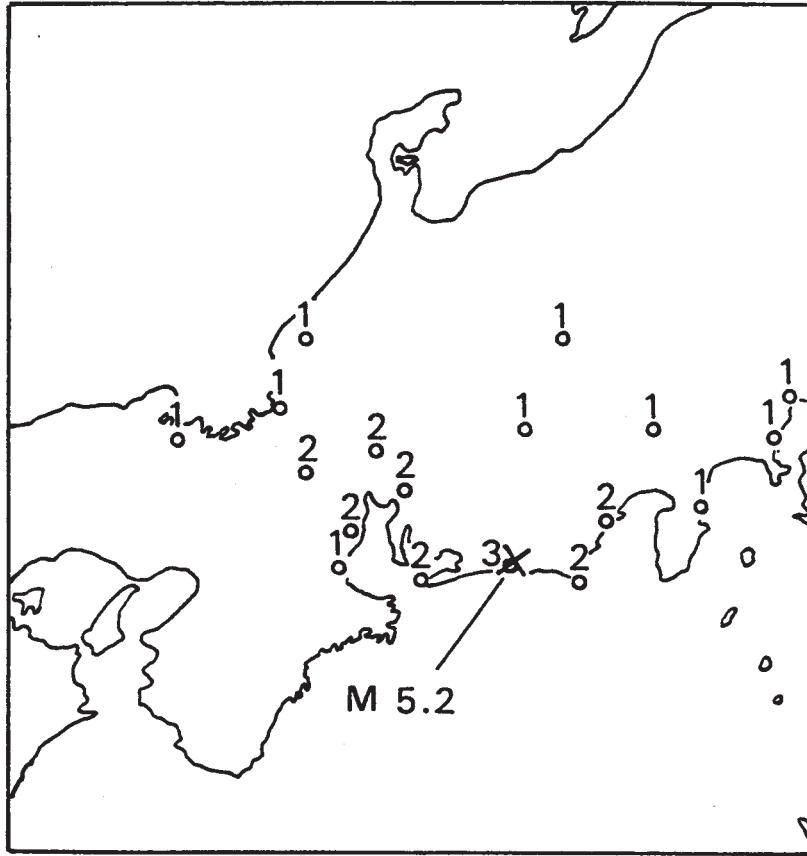
これに対し、この周辺地域に当る山梨・神奈川県境付近から伊豆地方にかけて活発な地震活動があった。すなわら、8月8日の山梨・神奈川県境付近の地震、8月31日から群発した新島近海の地震、10月3日の三宅島噴火に伴う地震活動などである。南関東地域では、5月19日頃から房総半島付近で地震が群発した。これらの地震活動についてはそれぞれ別項で述べる。

第4図(A)，(B)にそれぞれ図の左上に示すA，B領域内に発生した地震の累積日別回数である。両図のB領域で8月から10月にかけて段階的に地震が増加しているのは前述の地震活動によるものである。第4図(B)の駿河湾からその南方沖にかけてのA領域では目立った変化はなかった。



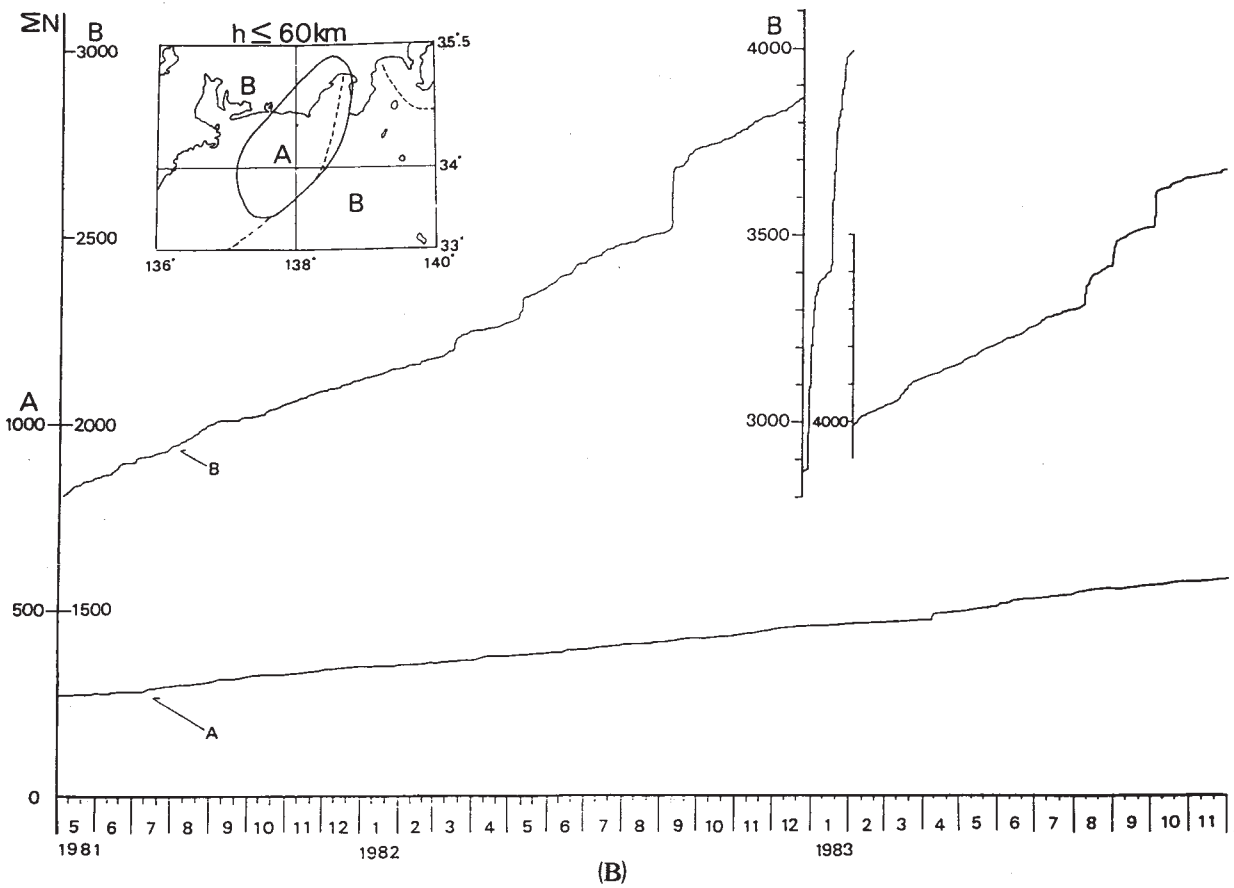
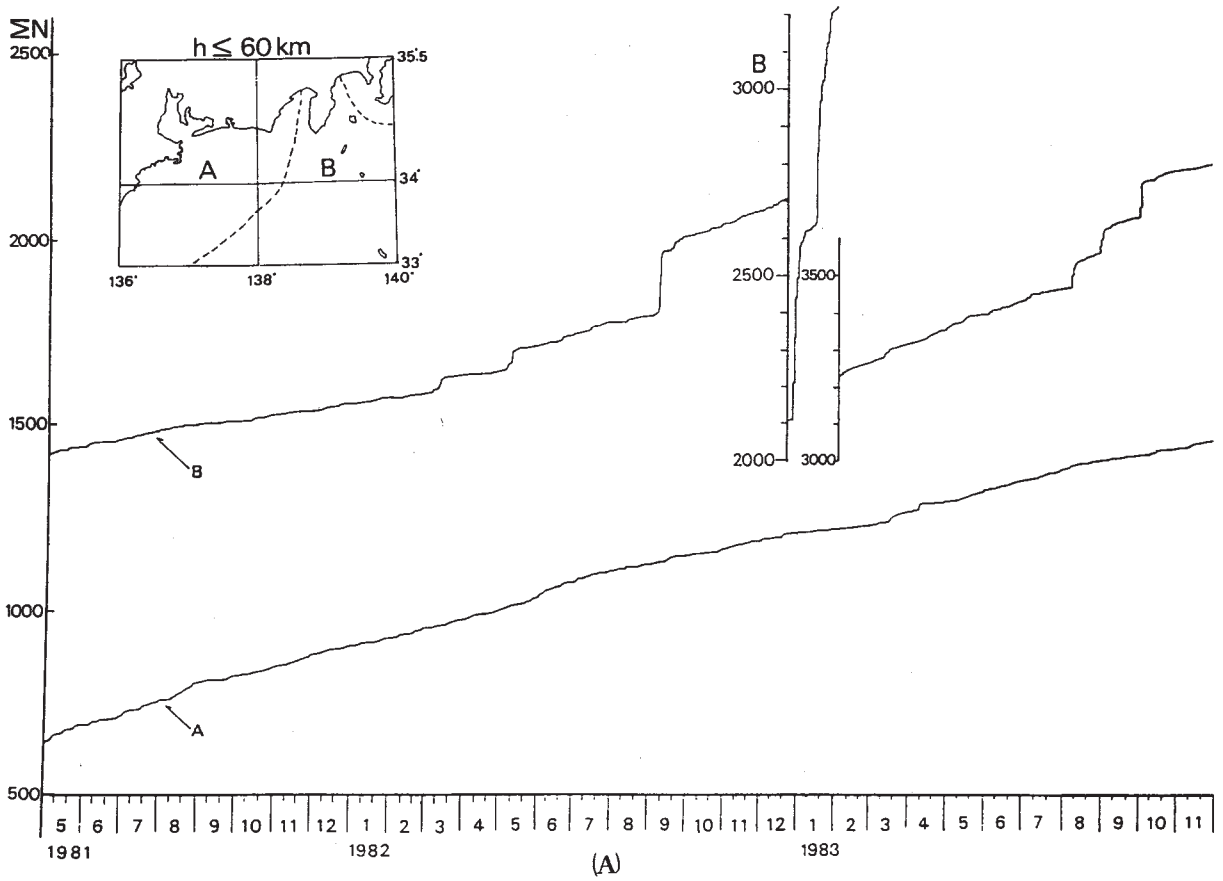
第1図 東海・南関東地域に発生した地震の分布（1983年6月-11月）

Fig. 1 Distribution of epicenters of earthquakes in the Tokai and Southern Kanto Districts, June - November, 1983.



第2図 1983年11月24日10時23分静岡県西部沿岸の地震による震度分布

Fig. 2 Distribution of seismic intensities for the earthquake in the western Shizuoka prefecture, November 24, 1983.



第3図 (A), (B) 東海地方における地震活動の変化

Fig. 3 (A) and (B) Daily number of cumulative frequency of earthquakes in the region A and B, respectively.